

Speed Reading Practice for Eiken

Pre-1: No. 1

解答

(1) 2 (2) 2 (3) 3 (4) 3 (5) 2 (6) 2 (7) 3

第1題 Cool Roofs and Hot Cities

(1) What is one reason city temperatures often stay high at night?

正解: 2

選択肢の和訳

1. 都市の建物が、日光が農村部に届くのを妨げているから。
2. 都市の暗い表面が昼間に熱をためこみ、あとでゆっくり放出するから。
3. 都市のエアコンは車より多くの熱を生み出すから。
4. 農村部は医療施設が少ないため冷えやすいから。

正解の理由

本文第1段落第2文で、

“roads, rooftops, and other dark surfaces absorb a great deal of sunlight during the day and release the heat slowly at night”

と述べられています。つまり、道路や屋根などの暗い表面が、昼間に熱を吸収し、夜にゆっくり放出することが、夜になっても都市の気温が高い理由です。したがって②が正解です。

誤答の理由

1. 日光が農村部に届かないとは書かれていません。
2. エアコンと車の発熱量の比較は本文にありません。
3. 医療施設の数と気温低下の関係は本文にありません。

(2) What does the author suggest about cool roofs?

正解: 2

選択肢の和訳

1. 都市のすべての建物に設置されない限り、役に立たない。
2. 他の都市対策と組み合わせて使うとき、最も効果的である。
3. 主に非常に寒い地域に住む人々に利益をもたらす。
4. どの都市でも実用的でないほど高価である。

正解の理由

本文第4段落第1文・第2文で、

“Many researchers therefore see cool roofs as only one part of a broader strategy.”

“No single measure can solve the urban heat island effect, but several approaches used together may make cities safer and more comfortable.”

とあります。つまり、クールルーフは単独の完全解決策ではなく、他の対策と組み合わせることで効果を発揮するものと述べられています。よって②が適切です。

誤答の理由

1. 「すべての建物」でなければ無意味、とは述べられていません。
2. 寒冷地ではむしろ冬に暖房効率が下がる可能性があるかとあります。
3. 初期費用の問題はありますが、「どの都市でも実用的でない」とまでは書かれていません。

(3) Which of the following is true according to the passage?

正解: 3

選択肢の和訳

1. クールルーフは、どの気候でも年間の冷暖房費を必ず減らす。
2. クールルーフ反対派は、都市が暑くなっていること自体を否定している。
3. クールルーフ以外の追加的な対策にも都市は投資すべきだと考える人もいる。
4. 研究者たちは、クールルーフだけで都市のヒートアイランド現象をなくせると結論づけている。

正解の理由

本文第3段落第4文で、

“Critics also say that cities should invest in other measures, such as planting more trees and creating more shaded streets.”

とあります。つまり、クールルーフ以外にも、植樹や日陰のある通りづくりなど、別の対策に投資すべきだと考える人がいるわけです。したがって③が正解です。

誤答の理由

1. 気候によって効果が異なるとあり、「必ず減らす」は言いすぎです。
2. 反対派も都市の暑さ自体は前提にしており、それを否定してはいません。
3. 最終段落で、単独では解決できないと明言されています。

第2題 The Return of Repair

(4)What does the author say about the change in consumer behavior?

正解:3

選択肢の和訳

1. それは主に修理業者の質の低下によって生じた。
2. それは古い製品が安全に修理できなくなったために起こった。
3. それは、安い商品と修理しにくいように作られた製品の影響を受けていた。
4. それは主に、家具が電子機器より高価な国々で起こった。

正解の理由

本文第1段落第3文・第4文で、

“As manufacturing became cheaper and new goods became easier to buy, replacing an item often seemed simpler than repairing it.”

“This trend was strengthened by changing fashions, strong advertising, and products that were hard to open without special tools.”

とあります。つまり、製品が安くなったこと、そして特別な道具がないと開けにくいなど修理しにくく作られていたこ

とが、消費行動の変化を後押ししたのです。よって③が正解です。

誤答の理由

1. 修理業者の質の低下には触れられていません。
2. 「安全に修理できないから」とは書かれていません。
3. 家具と電子機器の価格比較を原因として述べられていません。

(5)According to the passage, what is one benefit of repair cafés?

正解:2

選択肢の和訳

1. 人々をプロの技術者に育てる。
2. 壊れた物を捨てるのではなく、修理する価値があるものだと考えられるようにする。
3. メーカーが地域社会の中で製品試験を行えるようにする。
4. あらゆる種類の機器に無料の交換部品を提供する。

正解の理由

本文第3段落第3文・第4文で、

“Participants often learn basic repair skills and begin to feel that objects they once would have thrown away may still be valuable.”

と述べられています。つまり、repair cafésの利点は、参加者が修理の基本を学ぶだけでなく、以前なら捨てていた物にもまだ価値があると感じるようになることです。したがって②が正解です。

誤答の理由

1. プロ技術者の養成が目的とは書かれていません。
2. メーカーの製品試験の場とは述べられていません。
3. 無料交換部品の提供については本文にありません。

(6)Why do some manufacturers oppose right-to-repair rules?

正解:2

選択肢の和訳

1. 修理マニュアルはすでに広く出回りすぎていると考えているから。
2. 修理へのアクセス拡大が危険を生み、技術革新を弱めるおそれがあると心配しているから。
3. 消費者はもはや機器の修理に興味がなくなっているから。
4. 壊れた製品に再利用可能な材料はほとんど含まれていないと主張しているから。

正解の理由

本文第4段落第4文で、

“Manufacturers, however, argue that modern devices are complex, that improper repairs may create safety or cybersecurity problems, and that sharing too much information could weaken innovation.”

とあります。つまりメーカーは、不適切な修理が安全面・サイバーセキュリティ面の問題を生みうること、また情報共有が行きすぎると技術革新が弱まることを懸念しています。よって②が正解です。

誤答の理由

1. 「すでに広く出回りすぎている」とは書かれていません。
2. 消費者の関心の欠如は反対理由として述べられていません。
3. むしろ第2段落では、再利用可能な金属が含まれると述べられています。

(7) What is the main point of the final paragraph?

正解:3

選択肢の和訳

1. 修理はまもなく大量生産に代わる主要な経済モデルになる。
2. 修理運動が成功しているのは、人々が過去を懐かしんでいるからにすぎない。
3. 修理をめぐる議論は、実は経済の価値観をめぐるより大きな論争の一部である。

4. ほとんどの消費者はすでに、利便性より耐久性の方が重要だと決めている。

正解の理由

最終段落第1文・第2文で、

“The debate is therefore about more than simply fixing old things.”

“It reflects a broader question about whether society should continue to prioritize convenience and quick replacement or place more value on durability and reduced waste.”とあります。つまり、修理の議論は単なる修理技術の話ではなく、便利さ・大量消費を重視する社会でいくのか、それとも耐久性やごみ削減を重視する社会を目指すのかという、より大きな価値観の問題だということです。したがって③が正解です。

誤答の理由

1. 修理が主要モデルになるとは断定していません。
2. nostalgia(懐古)だけが理由だとは否定されています。
3. 消費者全体がすでに結論を出したとは書かれていません。

全訳

Cool Roofs and Hot Cities

多くの大都市では、夏の気温が近くの農村部より高くなる。これは都市ヒートアイランド現象と呼ばれる。道路、屋根、その他の暗い表面が昼間に大量の日光を吸収し、その熱を夜にゆっくり放出するためである。その結果、都市の住民は長く不快な暑さにさらされ、ひどい場合には健康上の危険も大きくなる。高齢者、幼い子ども、そして特定の持病を持つ人々は、日没後も暑さが続くと特に影響を受けやすい。

この問題に対処するため、一部の都市では「クールルーフ」の導入を進めている。これは、普通の屋根より多くの日光を反射し、熱をあまり吸収しない素材で作られた屋根である。これにより室内温度が下がり、冷房の必要が減り、エネルギー使用量も減少する可能性がある。ある地域で多くの建物がこうした屋根を使えば、その周辺の屋外気温もわずかに下がることがある。そのため、支持者たちは

クールルーフが公衆衛生と環境の両方に役立つと主張している。

しかし、クールルーフが最善の解決策かどうか疑問を持つ人もいる。その効果は気候によっても左右される。冬が長く寒い地域では、夏に熱を反射する屋根が、冬には建物をやや暖めにくくするかもしれない。費用も別の問題である。長期的には光熱費を減らせる可能性があっても、最初の設置費用は住宅所有者や小規模事業者には負担が重い場合がある。批判者たちは、都市はさらに、植樹や日陰の多い通りづくりなど、別の対策にも投資すべきだと述べている。

したがって、多くの研究者はクールルーフを、より広い戦略の一部分にすぎないと考えている。たった一つの対策で都市ヒートアイランド現象を解決することはできないが、複数の方法を組み合わせれば、都市をより安全で快適な場所にできるかもしれない。

The Return of Repair

20 世紀の大半において、家庭用品が壊れたとき、多くの人はそれを修理しようとした。修理店はよく見られ、消費者は家電製品、衣類、家具が何年ももつことを当然のように考えていた。しかし近年、多くの国でその流れは変わった。製造コストが下がり、新しい商品が買いやすくなるにつれて、修理するより買い替える方が簡単だと思われるようになった。この傾向は、流行の変化、強い広告、そして特別な道具がないと開けにくい製品によってさらに強まった。

この買い替え文化の結果は、ますます深刻になっている。

特に廃棄された電子機器は、増え続けるごみ問題を生み出している。多くの機器には再利用できる有用な金属が含まれている一方で、適切に処理されなければ環境を傷つける有害物質も含まれている。また、絶えず買い替えることは、より多くの原材料とエネルギーを必要とする。そのため、一部の活動家、政策立案者、消費者は、修理を再びもっと容易にすべきだと主張するようになっている。

それに対する一つの動きが、repair cafés や地域の修理ワークショップの広がりである。こうした場では、技術のあるボランティアが壊れたランプ、自転車、小型家電などを直す手助けをする。その目的は実用面だけでなく教育面にもある。参加者は基本的な修理技術を学び、以前なら捨てていたような物にも、まだ価値があると感じるようになることが多い。

同時に、一部の政府は「修理する権利」に関する法律を検討している。これにより、メーカーは交換部品や修理マニュアル、あるいはソフトウェアへのアクセスを提供することが求められる。支持者は、そのような法律がごみを減らし、消費者の自由を広げると述べる。しかしメーカー側は、現代の機器は複雑であり、不適切な修理は安全上やサイバーセキュリティ上の問題を引き起こす可能性があること、さらに情報を共有しすぎると技術革新が弱まるかもしれないと主張している。

したがって、この議論は単に古い物を修理すること以上の意味を持つ。それは、社会が今後も利便性と素早い買い替えを優先し続けるのか、それとも耐久性とごみ削減をより重視するのか、というより大きな問題を映し出している。